

# ICS6号速報

アイ シー エス

NEW 多収米 生育調査

ロゴウ

6号

NO. 2

令和4年 6月 2日

福井基幹支店  
JA福井県  
多収米部会

日本で唯一の大規模栽培！新・多収米をFUKUIから発信！！

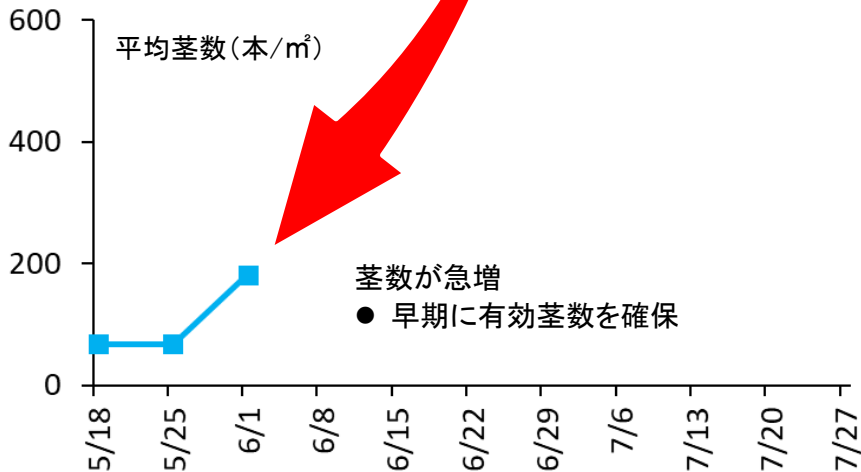
## ●中干し開始時期まで浅水管理で分けつ促進！

### 1. JA生育調査状況（6月1日現在）

栽培区分	平均作業日	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉令	葉色
移植	5月2日	27.2	181.4	6.1	4.2

5月は天候に恵まれ、生育は順調に推移しています。茎数も今後増加していく傾向にあり、引き続き水管理の徹底と雑草対策を実施しましょう。

### 2. 茎数の推移と今後の管理



6月上旬の茎数管理が重要!!

- 今後、茎数が急激に増加します。茎数が確保された圃場から順次中干しを開始しましょう。
- 移植後35日までには、目標穂数8割に満たなくても中干しを実施する。

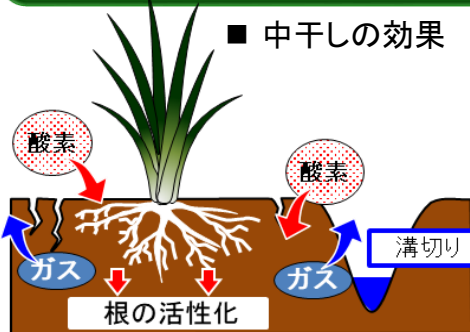
#### 【軟弱徒長の抑制】

日照不足と深水管理による稲の軟弱徒長は、活着後の浅水管理や田干しを実施。



### 3. ICS6号の栽培管理のポイント！

#### ■ 中干しの効果



#### ① 中干しの多収穫効果（適正茎数・籾数と登熟向上）

- 無効分けつの抑制
- 受光体制の向上
- 倒伏防止
- 根の活性化

溝切りで中干し効果アップ

#### ② 中干しの程度

- 粘土土壌(湿田)
- 生育過剰

強め(早め)の中干し

- 砂質土壌(乾田)
- 生育不足

弱め(遅め)の中干し

■ 中干し開始時期は目前です。浅水管理を続け、茎数確保に努めましょう。

■ 圃場内の雑草確認を行い、雑草発生を確認したら、早期に除草対策を行ないましょう。

■ ワキの発生がある圃場は、軽めの田干しを行ない生育確保に努めましょう。



適期管理で収量アップを目指しましょう。今週のICS6号速報は『西部支店』が担当しました。